

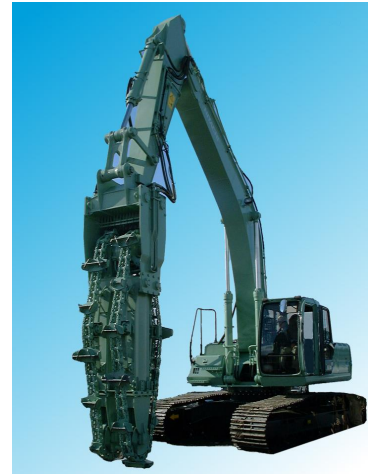
パワーブレンダー工法

1. 工法概要

バックホウタイプのベースマシンにトレンチャー型攪拌混合機を装備した地盤改良専用機で、軟弱土を細かに切断し、スラリー状にした安定材を地中に噴射しながら原位置の軟弱土と改良材を強制的に攪拌混合することで軟弱地盤を固化する工法。

○特徴

- ・従来の浅層混合処理工法の範囲を超えて、中層地盤（最大 13m まで）改良可能。
- ・地盤を鉛直攪拌混合することにより地盤の均質化を図ることができ、互層地盤での強度のバラツキが少ない。
- ・セメント系安定剤の適切な選定により、あらゆる土質に適用できる。
- ・施工中にトレンチャーの鉛直性、チェーン速度、チェーン累積移動距離、改良深度をモニタリングでき、改良材スラリー供給量の自動記録と併せて信頼度の高い施工管理を行うことができる。
- ・ベースマシンがバックホウタイプの為、狹隘地区や傾斜地への搬入も可能。
- ・短期間で所要強度が得られるので、工期が大幅に短縮できる。



○実績

9,000 件以上、施工土量にして約 4,000 万 m³の実績がある（平成 30 年度末累計）

2. 施工法

○施工機械

施工深度や施工条件によって、本体の機種選定を行う。ベースマシンは 0.8～1.9m³ クラスの改造型バックホウとなる。

